

授業概要 (シラバス)

■科目基本情報		専門学校日本ホテルスクール	
科目番号	MS507	分類	講義科目
授業科目名	ブライダルコーディネーター実務	英文授業科目名	Practice of Brial Coordinator
年度	2024年度	年次	昼間部 1年 ブライダル科
開講学期	後期	授業の方法	講義
単位数	1単位	年間授業時間数	14.4時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	12コマ
担当教員名	大野 渚	実務経験あり	
経歴	2014年専門学校日本ホテルスクール卒業後、ゲストハウス運営を行う企業に入社。ウェディングプロデューサー、チーフウェディングプロデューサーとして3会場で300組以上を接客。プロデューサー業務と並行し新卒採用の面接官や、新入社員のOJT研修業務経験の後、本社マーケティング部に異動。現在は同グループでチーフとして会社全体の集客数増加・来館率向上に向け全国23会場のマーケティング業務と、来館前の事前架電の品質向上に向け教育業務に従事。		
■授業・科目情報			
学習目標	前期科目「ブライダル総論1」で習得した婚礼に関わる専門知識、トレンドを用いて、ブライダルコーディネーターに必要な知識やスキル、立ち振る舞いを実践的に習得する。トレンドだけでなく動向理解(少子化、晩婚化、非婚化)を理解したうえで、ブライダルコーディネーターの業務内容、役割、資質を学びます。		
教科書	「ブライダル総論」財団法人日本ホテル教育センター		
授業計画	回数	内容	
	1	新規接客	
	2	打ち合わせの流れ	
	3	ペーパーアイテム・忌み言葉・長寿のお祝い	
	4	引出物・引菓子	
	5	写真・映像	
	6	装花	
	7	見積もり	
	8	進行・演出①	
	9	進行・演出②	
	10	現在の結婚式における価値観①	
	11	現在の結婚式における価値観②	
	12	後期試験	
授業の進め方	「ブライダル総論」のテキストに沿って概論を中心に講義。打合せの実務については「ブライダルプロデュース」のテキストを中心に講義する。		
試験の実施方法	後期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『ブライダル総論1』『ブライダルマネジメント』『ブライダルマーケティング&セールス』		
参考書	「ブライダル総論」「ブライダルの装美と演出」財団法人日本ホテル教育センター 「アシスタント・ブライダル・コーディネーター」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会		
学生へのメッセージ	前期で学んだ基礎知識を活かし、よりブライダルコーディネーター専門的知識を身につけます。更にはブライダルビジネスとしての位置づけ、組織及びスタッフの役割を理解し、その業務内容についても学習します。婚礼部門に関わるスタッフは、ブライダルコーディネーターだけではありません。幅広い分野に関係する商品を理解し、お客様と接する際の一般基本知識およびマナーに関する知識も学びます。		